

第4回 北九州市営バス事業あり方検討会議 会議録（要旨）

- 1 開催日時 令和2年1月17日（金）10時00分～11時00分
- 2 開催場所 北九州市役所本庁舎5階 特別会議室A（北九州市城内1-1）

3 出席者

【構 成 員】 50音順 敬称略

菊池構成員、嶋田構成員、白川構成員、末吉構成員、鈴木構成員、平野構成員、
安井構成員（欠席：内田構成員、太田構成員、小山田構成員）

【オブザーバー】

九州運輸局福岡運輸支局 首席運輸企画専門官
総務局 行政経営部長、財政局 財務部長、保健福祉局 障害福祉部長、
建築都市局 計画部長、若松区役所 区次長

【事 務 局】

北九州市交通局長、局次長、総務経営課長、営業推進課長

- 4 議 題 北九州市営バス事業あり方検討会議における検討内容（案）

5 主な発言内容

（1）人材の確保について

- 他社では、大型二種免許の受験資格を得るまで時間を要する高卒の新卒者を採用して、内部事務等に従事させながら、免許を取得させるという方法で運転者を養成している事例がある。市営バスでも同様の取り組みを検討してはどうか。

（回答）運転者不足は全国的な課題であり、将来的に他社のような取り組みをしなければ運転者不足は解消されないと考えており、今後、方法を研究してまいりたい。

- 運転者の確保は念頭に置いておかなければならないと思うが、乗合バスの利用者を増やすことが先だと思う。利用者を増やすことと並行して、財政状況を見ながら運転者を確保していくべきだと思う。

- 検討内容中、「運転者の確保について、根本的に処遇の問題を改善しない限り、人材の確保は難しいのではないか」との表記については、抜本的な解決をお願いしたいということで、その旨要望があったとの表記に改めてほしい。

（回答）運転者の処遇の問題については、非常に重要な問題だと考えており、現在、運転者と協議をしながら少しずつ改善しているところである。引き続き、財務状況も踏まえながら、改善を進めてまいりたい。

- 女性の運転者は、運転が丁寧で、接遇もいいと感じるので、女性運転者を増やしていただければと思う。

(回答) 現在、女性運転者の採用に努力しており、トイレ改修などの職場環境の改善に取り組んでいる。また、子育て中の女性などのニーズに合った勤務時間の設定にも取り組む必要があると考えている。

(2) バス車両の小型化について

- 10人乗りの車両の導入について、現行の文案では市営バス路線全体に導入するように誤解されると思うので、表現方法を変えた方がいい。

(回答) 10人乗り車両を導入する路線については、利用者が車両の乗車定員に収まる路線を(乗車実績を踏まえて)選定して導入することとしているため、表現方法については、今後、明確に分かるように工夫したい。

(3) 便利で利用しやすいサービスの提供

- 大学生がバスを利用しやすいように、授業時間やJRとの接続等を踏まえたダイヤを検討してほしい。

- ひびきの学研都市に多くの留学生が通学しているため、入学時等に合わせて市営バスの利用促進のPRをすれば、留学生の利用者が増えるのではないか。

(回答) 留学生や地域の方へのバスの乗り方等の説明方法について、検討を行い市営バスの利用促進に向けてPRを行う。

- 次期計画の取組の項目に、バス利用に関する地域への取り組みやモビリティマネジメントを入れるといいのではないかと思う。

(4) 誰もが安心して移動できるサービスの提供

- 利用者が多いバス停では、バスを待っている利用者の列に並ぶ必要があり、高齢者がベンチに座って待つことができない。飛行機では優先搭乗という仕組みがあるので、始発のバス停においても、高齢者が優先して乗車できる仕組みがあれば、高齢者も安心してバスを待てるのではないか。

(回答) 高齢者や障害者のバスへの優先乗車については、利用者の理解も得ながら進めていく必要があり、今後、方法を研究してまいりたい。

(5) 快適な利用環境の整備

- バス停のベンチが屋根の下にないところがあるので改善してほしい。

(回答) ベンチを設置する場合は、基本的に、上屋の屋根の下に設置するようにしているが、道路の幅員上の規制により屋根の下に設置できないところもある。道路管理者や警察等と協議して、屋根の下にベンチが設置できるよう工夫してまいりたい。

(5) その他

- 検討内容中、「北九州市が目指している集約型の都市構造や立地適正化計画・・・」という表記について、他局ではコンパクトシティという言葉を使っているところもある。市として言葉の使い方や方向性を統一して示してもらえると、市民も分かりやすいと思う。

(回答) ご意見踏まえた上で、次期の計画策定を進めてまいりたい。

- 長年親しんできた市営バスなので、無くならないように努力してほしい。
- 交通局には、本検討会議において構成員から出された意見を常に念頭に置いて、交通局の今後の運営に具体的に反映していただきたい。
また、我々構成員も地元に戻って何ができるのかを考え、市営バスのPR等に協力していかなければならないと思うので、他の構成員にも協力をお願いしたい。

6 問い合わせ先 交通局総務経営課経営企画係 電話番号 093-771-8401